簡易入力システム (Version2.4) について

「平成 22 年 4 月制度改正」、「機能改善」及び「Microsoft Windows 7 日本語 (64 ビット) 版」に対応した簡易入力システム (Version2.4) をリリースいたしましたので、お知らせいたします。

(1) リリース対象システム

- ・簡易入力システム (障害福祉サービス編)
- ・簡易入力システム (障害児施設支援編)
- ・簡易入力システム (地域生活支援事業編) 制度改正による変更はありません
- ・取込送信システム

(2) 変更内容

- 「平成 22 年 4 月制度改正」に対応しました。
  - ・利用者負担の軽減措置により、低所得の受給者については利用者負担上限月額が 0 円になります。受給者の利用者負担上限月額が 0 円の場合、上限額管理事務が不要となるため、上限額管理関連の入力に関する点検を追加しました。

地域生活支援事業編を除きます。

「平成 22 年 4 月制度改正」において、障害福祉サービスにおける単位数表標準マスタの変更はありません。障害児施設支援のみ、新しい単位数表標準マスタを梱包しています。

- 請求情報等の事前点検の改善を行いました。
- その他、機能向上に伴う変更を行いました。
- Microsoft Windows 7 日本語 (64 ビット) 版 に対応しました。

電子請求受付システムを利用いただける Microsoft Windows 7 日本語 (64 ビット) 版のエディションは、以下の通りとなります。いずれのエディションも Service Pack なしでの動作保証となります。

Microsoft Windows 7 Home Premium

Microsoft Windows 7 Professional

Microsoft Windows 7 Enterprise

Microsoft Windows 7 Ultimate

変更内容の詳細につきましては、各システムのレベルアップマニュアルの [1. 修正内容] を参照してください。

(3) 入手・インストール方法

電子請求受付システムの【ダウンロード】画面よりダウンロードとなります。各システムのレベルアップマニュアル、または「電子請求受付システム 導入マニュアル (事業所編) 第 2.4 版」を参照してダウンロード及びインストールを実施してください。

なお、「電子請求受付システム 導入マニュアル (事業所編) 第 2.4 版」は、電子請求受付システムの【マニュアル】画面よりダウンロードとなります。

現在、電子請求受付システムの【ダウンロード】画面に Ver2.3 は登録されておりません。Ver2.4 のみが登録されています。

<適用について>

簡易入力システム（障害福祉サービス編、地域生活支援事業編）（Ver2.4）または取込送信システム（Ver2.4）のインストールは必須ではありませんが、「平成22年4月制度改正」の対応及び「機能改善」が行われておりますので、お早めにインストールをお願いいたします。

簡易入力システム（障害児施設支援編）（Ver2.4）では、平成22年4月より、「一単位の単価」が変更となり、それに対応した単位数表標準マスタを梱包しておりますので、平成22年4月サービス提供分の請求情報を入力する前に必ずインストールしてください。

なお、サービス提供年月が平成22年4月以降の請求情報を送信する際に、簡易入力システムのバージョンが「Ver2.4」になっていない場合、形式エラーとなります。

Microsoft Windows 7 日本語（64ビット）版のパソコンを利用する場合、簡易入力システム（Ver2.4）または取込送信システム（Ver2.4）を必ずインストールする必要があります。

< 注意事項 >

【既に電子請求受付システムを利用しており、現在使用しているパソコン（Microsoft Windows 7 日本語（64ビット）版を除く）を使用し続ける事業所】

- レベルアップマニュアルの内容を参照し、簡易入力システム（Ver2.4）または取込送信システム（Ver2.4）をインストールしてください。
- 簡易入力システム（Ver2.4）または取込送信システム（Ver2.4）は上書きインストールになります。このインストールにより、今まで入力したデータが消えることはありません。ただし、既にインストールしている簡易入力システム、または取込送信システムをアンインストールしないように注意をお願いいたします。

【既に電子請求受付システムを利用しており、新しいパソコン（Microsoft Windows 7 日本語（64ビット）版を含む）へ切り替える事業所】

- これまで利用していたパソコンから、新しいパソコンへ移行する場合は、「電子請求受付システム 導入マニュアル（事業所編）第 2.4 版」の以下の作業を行い、新しいパソコンに簡易入力システム（Ver2.4）をインストールしてください。

- ・「1.3. 注意事項 信頼済みサイト及びセキュリティの設定について」

- ・「1.3. 注意事項 ポップアップブロックの設定について」

- ・「3.1.1. パソコン等準備」

- ・「3.1.2. ソフトウェアのバージョン確認」

- ・「3.1.5. ショートカットの作成」

- ・「3.2.2. 証明書のダウンロード及びインストール」

請求可能な電子証明書が存在する場合、新規に証明書発行申請を行う必要はありません。

- ・「3.3. ダウンロード及びセットアップ」

ダウンロード及びインストールする簡易入力システム、または取込送信システムは Ver2.4 となります。Ver2.3 以前をインストールする必要はありません。

これまで利用してきたパソコンで登録した簡易入力システムのデータを、新しいパソコンに移行することができます。

操作方法については、「3.3.3. 簡易入力システムのセットアップ Point！ パソコンの買い替え等による簡易入力システムのデータ移行について」を参照してください。

【はじめて電子請求受付システムを利用する事業所】

- はじめて電子請求受付システムを利用される方は「電子請求受付システム 導入マニュアル(事業所編)第2.4版」の内容を参照し、導入作業を実施してください。

ダウンロード及びインストールする簡易入力システム、または取込送信システムは Ver2.4 となります。Ver2.3 以前をインストールする必要はありません。

簡易入力システム(障害児施設支援編)(Ver2.4)のインストールは必須となるため、請求情報を送信する際に形式エラーとなる対象のバージョンを以下の通り、変更しております。

なお、簡易入力システム(障害児施設支援編)以外を利用している事業所については、これまで通りであり、変更はありません。

[形式エラーとなる対象バージョン]

サービス名	簡易入力システムのバージョン	取込送信システムのバージョン(1)
障害福祉サービス	Ver2.1 未満	Ver2.1 未満
障害児施設支援	Ver2.4 未満(2)	Ver2.1 未満
地域生活支援事業	Ver2.0 未満	Ver2.0 未満

- 1 取込送信システムはサービスごとにシステムが分かれておりませんが、送信される請求情報を基に、電子請求受付システムにおいてサービスごとにチェックを行います。
- 2 サービス提供年月が平成 22 年 3 月以前の請求情報のみの場合は、形式エラーとなりません。